

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和5年10月10日 VOL. 182

官民連携により認知症バリアフリーの推進！！

令和5年8月29日（火）生涯学習センターを会場に『藤枝市認知症の人に優しいお店・事業所連絡会』を開催しました。今回の連絡会では、地域の中での**認知症バリアフリーの推進**※を目的として、お店や事業所がそれぞれの取組を共有し、認知症の本人の声から暮らしの中の障壁（バリア）について知り、**誰もが暮らしやすい地域づくりに向けて**できることを話し合いました。

認知症の人に優しいお店・事業所は、平成25年から認知症サポーター養成講座を受講したお店や事業所に対し、「認知症の人に優しいお店・事業所」として認定し、現在までに89事業所が誕生しています。

※**認知症バリアフリー**：認知症になってからも、できる限り住み慣れた地域で安心して普通に暮らし続けていくために、**生活のあらゆる場面での障壁（バリア）を減らしていく取り組み**

市内認知症当事者が動画で発信！『暮らしやすいまちを考える～認知症の人の視点から～』



認知症の人はなるべく迷惑をかけないようにと思っている。健常者は認知症の人に対し、助けてやりたいと思うことがあるようだが、（本人は）申し訳ない気持ちになる。普通の人と同じように接してもらいたい。
“認知症の人”と区別すること自体がおかしいと思う。
“特別な人”と思われると暮らしづらい。

認知症の人に優しいお店・事業所の取り組み

【ウエルシア薬局株式会社】

認知症の人を含む高齢者が安心して買い物ができるように、**スローショッピング**（認知症の人など手伝いを必要とする人が安心して買い物ができる空間を提供する活動）に取り組んでいる。また、妻が認知症で夫の「妻のメイクの仕方が分からない」という悩みを聞き、**メイク講座の開催を企画した**。



今後も**多様な声やニーズからできることを行っていきたい**。

【有限会社塚本興業】

地域の中でゴミ出し困難者が増えつつあり、**多機関と連携を図りながら、考えていきたい**。会社の中で残飯の有効活用として堆肥を作っており、**認知症の人とともに芋を中心とした野菜作りを行っており、一緒に作業をして楽しい時間を過ごしている**。さつまいもを収穫し、マルシェで販売する予定である。



令和5年6月14日に『**共生社会の実現を推進するための認知症基本法**』が成立しました。この法律では、「**認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすよう**」「**共生社会の実現を推進すること**」が目的として示されています。本市の**認知症施策**では引き続き、**本人の声を聴き本人とともに進めていくこと、多様な分野の人がそれぞれの立場や強みを活かし、支え合いながら共生する地域づくりを推進します**。

